

TMニュース

No.2

R2.8.26. TM部

授業時間の確保のため、一学期が8月上旬まで延長され、夏休みも2週間となりました。例年行っていた都立病院での実習や大学での研修等が実施できず、夏のTMミーティングも例年とは違った形で実施されました。

7月27日(月) 1年31名 2年12名



期末試験終了後の7月27日、1,2年生対象の第2回TMミーティングが行われ、TM部で国語科の美田先生による「小論文基本の“き”」と題して講義が行われました。論文を書く上での基本的な約束事や作文と論文の違いなどについて、「き」をテーマに実際に書いてみながら進められ、どんな文章を書くときでも論文を意識して書くように指導されました。生徒諸君は真剣に取り組み、終了後に提出された小論文は添削して返却されました。

8月8日(土) 3年16名



一学期の終業式が行われた8月8日、本来なら3月に実施予定であった今春の国立大学医学部医学科合格者による講演会を実施しました。

校長先生から3年生に激励の言葉をいただいた後、4名の先輩方(1名はリモート参加)から話を伺いました。

(1) S君(高知大学医学部医学科)

高知大学にはギリギリの合格だったこと、センターで思うように点が伸びなかったことなど、自らの失敗などを交え、学習上の注意点を丁寧に話してくれました。

(2) Mさん(長崎大学医学部医学科)

熱帯感染症の研究で高い実績がある長崎大学に行きたいと思ったのは1年生、推薦受験を決めたのは3年だったこと。センターテストや面接対策など推薦のノウハウとTMでの研究が役立ったことなどを説明してくれました。(リモート参加)

(3) O君(東北大学医学部医学科)

文系から医学部に転じたこと、東京を離れても行きたい大学が東北大学だった。幅広い学習の重要性、各科目の学習ポイントなどをわかりやすく話してくれました。

(4) Sさん(信州大学医学部医学科)

地域医療に力を入れていることから信州大学に決めた。範囲のある試験で点がとれなければ、範囲のない試験で点はとれないと考え、学校の試験は重視した。塾の自習室を活用したこと、気分転換も必要なことなどを話してくれました。

皆さんの講演終了後、個別の相談会が実施され、熱心な質問が続きました。

